

# 福祉体験 年間報告

浦添市社会福祉協議会では福祉教育推進事業の一環で、市内学校の児童生徒を対象に福祉体験を行っています。体験ではアイマスクや車いす・点字などの体験及び講話をとおして、地域にはいろいろな立場の人がいることを学び、一人ひとりが自分と同じように尊い命や人格を持ち、共に生きていくことの大切さや豊かな心を育むことを目的に実施しています。

(協力: ボランティアグループ、市内企業及び事業所)

## 11月7日 仲西小学校3年生



点字を上手に打っているかな？

## 12月5日 宮城小学校4年生



アイマスクをつけての歩行は、不安定でドキドキするね！

## 12月12日 沢岬小学校3年生



車いすは乗るのも押すのも難しいなあ…

## 1月23日 浦城小学校3年生



「認知症」ってなんだろう？

ぶつからないように… ゆっくり。ゆっくり。。。



## 福祉教育推進事業のおもな内容

- 浦添市福祉推進教育推進校(園)への活動助成金交付
- 学校や地域における福祉体験
- 福祉教育に関する啓発活動(福祉教育活動実践報告会の開催など)

## 体験した子どもたちの感想

- 点字体験では五十音の文字を少し覚え、車いす体験は少し難しく大変でした。
- 認知症になるといろいろなことを忘れることがわかりました。認知症の人は「大丈夫だよ」と言うと、安心すると言っていました。
- アイマスク体験は、今どこを歩いているのかわからないので不安でドキドキしました。
- 福祉のいろんなことがわかってよかったです。これからも目の見えない人や困っている人がいたら、助けるようにしたいです。

この事業は、「赤い羽根共同募金」の配分事業で実施しています。